

ワカサトウヒレン

Saussurea ussuriensis Maxim.
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数は極めて少ない。

分 布

高浜町。国内でも本県のみで確認されている。

種の特徴

若狭海岸の蛇紋岩地に生える。茎は高さ 25 ~ 70 cm、下部の葉は卵形、鋸歯縁または浅裂、基部は心形、茎葉は披針状楕円形、総苞は狭筒形。片は 9 列、外片は卵形で短い。2004 年新種として発表された。

生育を脅かす要因

現在確認されている生育地は 1 箇所のみで生育数も極めて少なく、環境の変化による絶滅が危惧されている。

参考文献 林弥栄・門田裕一 (2009)、Y.Kadota (2004)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○														

ナベナ

Dipsacus japonicus Miq.
スイカズラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内でこれまで確認されている生育地は 10 箇所以下で、近年生育地、個体数とも少なくなっている。

分 布

本州～九州に分布する。県内では福井市、永平寺町、池田町、越前町、今庄町、敦賀市、おおい町で自生が確認されている。

種の特徴

日当たりの良い山地に生育する越年生草本。大型の草本で、高さ 1m を超える。全体に刺状の剛毛がある。葉は対生し、頭大羽状に全裂し、鋸歯縁。花は 8 ~ 10 月にかけて紅紫色の小花を咲かせる。

生育を脅かす要因

造成工事、道路の拡幅・新設工事による生育地の消失、また自然遷移の進行が生育地、個体数とも減少する要因となっている。園芸採取の対象にもなりやすい。

参考文献 奥田重俊編 (1997)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○				○		○	○	○							○

リンネソウ

Linnaea borealis L.
スイカズラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地がごく限られ、個体数も極めて少ない。県内では 1 山域に確認されているのみである。

分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布する。県内では奥越地方で確認されている。

種の特徴

亜高山帯の常緑針葉樹林下に生育する。地面を匍匐する低木。茎は地上をはって枝分かれし、短柄のある広楕円形の葉を対生する。花期は 7 ~ 8 月。花茎は斜上し、花は筒状あるいは鐘状で、花茎の先に薄い桃色の 2 つの花を下向きにつける。

生育を脅かす要因

産地が局限される。また、園芸採取の対象になりやすい。温暖化。

参考文献 奥田重俊編 (1997)、福井県植物研究会 (1998)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	